

## 令和6年度青森県特産品コンクール審査講評

審査会は、販売、商品開発、製造技術など各分野の専門家の審査員6名により、7月25日に開催され厳正なる審査を行いました。

- 1 食品部門は、郷土色、生産技術の新規性や独創性、味、包装・デザイン、価格の観点から、審査を行い、青森県知事賞1点、青森県農林水産部長賞2点、青森県物産振興協会会長賞4点を決定いたしました。
- 2 青森県知事賞の「ほたて貝焼きみそ」は、青森を代表する郷土料理を電子レンジで簡単に本格的な味に仕上げられる点、青森県産ベビーホタテをふんだんに使用しているにも関わらず値頃感のある販売価格を実現した点を高く評価しました。今後の全国展開に期待したい商品だと思えます。
- 3 青森県農林水産部長賞の「刻みにんにくオイル漬け」は、自社農園のにんにくを使用した六次産業化商品であり、味、デザイン、価格ともに完成度の高い商品です。使い勝手が良く、手軽にアレンジを楽しめる点も消費者目線にたった商品であると評価しました。
- 4 同じく部長賞の「アップルブランデー」は、まずグラスに注いだ時に香る芳醇なりんごの香りに驚かされました。そして、県産りんごと白神山地のめぐみを活かした商品ストーリーがあり、デザイン性も高いことから、消費者への訴求力が強い商品であると評価しました。

- 5 青森県物産振興協会会長賞の「青森アップルパイの素」は、りんご加工品の新ジャンルとなる着眼点を評価しました。味もアップルパイそのものであり、今後の多品種展開が期待されます。
- 6 「太宰のリンゴ酒」は、郷土愛を感じられるデザイン性が高く、ストーリー性があり、商品として秀逸でした。観光客に対するアピール力を評価しました。
- 7 「HONEY MINI」は、甘みが非常に強く、今までのトマトジュースの概念を覆す点を評価しました。
- 8 「りんご酒粕ペースト」は、素材に塗るだけで手軽に粕漬けができる簡便性と県内の蔵元別に商品化した点を評価しました。
- 9 工芸部門は、郷土色、技術の新規性や商品の独創性、土産品としてのデザイン、輸送形態、価格の観点から審査を行い青森県知事賞、青森県経済産業部長賞、青森県物産振興協会会長賞各1点を決定しました。
- 10 青森県知事賞のガラス製品「ゆいぬり」は、津軽塗の常識を逆手にとった斬新で独創性のある商品です。津軽塗の製造工程で行う「仕掛け」をガラスに組合せて手触りが楽しいことに加えて、飲み物を注いだあとのガラスの美しさがとても素晴らしく、価格以上の価値がある商品であると評価しました。
- 11 青森県経済産業部長賞の「ねぶたハネト人形 マスコット」は、伝統的な大型のハネト人形をコンパクトに仕上げた点や、

ひとつひとつ細かな「手しごと」で丁寧に作られており、表情がとてもかわいらしい点を評価しました。次世代に残したい青森らしい商品であると思います。

12 青森県物産振興協会会長賞の「アンダーザ サン アウトドア畳マット」は、伝統的な畳文化を継承してきた確かな技術と屋外で使用するための工夫が感じられた素晴らしい商品でした。アウトドアブームが盛り上がっている時代にマッチした商品だと思えます。

13 コンクール全体では、食品部門 2 社 2 6 商品、工芸部門 5 社 6 商品の出品がありましたが、惜しくも受賞に届かなかった商品についても、青森県産品にこだわった、甲乙つけがたい特色ある商品だったことを申し添えます。

最後に、受賞された皆様におかれましては、今回の受賞を一つのステップとし、今後も青森県産品の開発や販路拡大のけん引役として、御活躍されることを御期待申し上げ、審査講評といたします。